

2024 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書【公開版】

研究担当者	福田治久
研究機関名	九州大学
所属部署名	大学院医学研究院
役職名	准教授
研究課題名	健康データ創発的多地域コホート研究基盤の構築
研究実施期間	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

### 研究成果の概要

本研究プロジェクト（LIFE Study）は、自治体が保有する保健・医療・介護・行政等の健康関連データを住民単位で統合したデータベースを構築し、今後 20 年間にわたり追跡評価することで、ライフコース健康学を創出するものである。健康の関連要因・健康の波及効果の解明、データサイエンスに立脚した Evidence-Based Health Policy の変革、ヘルスケア産業における開発プロセス革新などを通じて、健康寿命延伸と健康格差解消に向けた創発的研究成果を産出することをめざしている。

2024 年度においては、LIFE Study 参加自治体を 35 自治体へ拡大し、日本国民のおよそ 1 割をカバーし、2024 年 3 月分までの保健・医療・介護・行政等の健康関連データを収集し、個人単位で統合したデータベースを構築した。また、2024 年度は、人口動態統計や国勢調査との連結解析を実施可能にしたことで、学歴別や職種別の研究をも可能にすることに成功した。さらに、データベース駆動型のドラッグ・リポジショニング創薬研究などの新たな研究プロジェクトも創出した。

さらにライフコース健康学を創出するために、30 の外部研究チームとの共同研究を行い、LIFE Study データベースを提供した。2024 年度に LIFE Study を用いた共同研究プロトコルは 60 件が提出されており、現在多数の共同研究が行われている。

また、2024 年度にはライフログデータをも統合すべく、100 名弱の市民を対象にデジタルデバイスを貸与して、身体活動、睡眠、生活行動範囲、心拍数などのデジタルバイオマーカーを収集した。ライフログデータをレセプトデータや特定健診データとリンケージ解析を行うことで、将来の疾病発症を予見可能なデジタルバイオマーカーの同定が期待される。

本研究は外部研究機関との共同研究が飛躍的に増加しており、2024 年度以降もライフコース健康学に関する研究成果を多数創出できると期待される。